

人生を支える言葉・・・

時の経つのは本当に「アツ」と言う間です。毎年同じ様な感想を持つようになりました(苦笑)。兎にも角にも、今年も残り後一ヶ月となりましたね。この一年間を振り返り、新年に誓願した事が、叶った方も叶わなかった方もおられると思います。あれもやろう、これもやろうと、思い巡らし、気がつけば、昨日が今日になり、今日が明日になる。それで結局、ほとんど何もしないで時間だけが過ぎ去ってしまった。そんな人も意外と多いのではないでしょうか？私達は皆共通して思う事に、「できれば健康な身体で長生きをし、そして充実した生活を送りたい」と。勿論、長く生きるだけが幸せではありませんが、生きていないと幸せを感じる事が出来ないという意味で、ある意味、これ以上の幸せはないのかもかもしれませんね。

壇信徒の皆さんの中に、すでに御存知の方もおられると思いますが、「日本一」いや「世界一」で、ギネスブックに公認された世界最高齢・長寿世界一の女性が日本から排出されました。116歳という常識外れの年齢だった、**本郷かまとさん**(鹿児島出身)です。彼女は11月に天寿を全うされましたが、その次の長寿に選出されたのが、またまた日本人だったときは驚きと喜びが涌きました。その方は広島県出身の**川手ミトヨさん**114歳が公認されました。彼女は好物のカスタードケーキを毎日食べているそうですよ。この事実が高齢化社会が本格化してきたこの日本のお年寄りをはじめ、全国の人達に大きな勇氣と元氣を与えた出来事でありました。

「あなたがこの道を選んだのではなく、この道があなたを選び出したのです」の言葉通り、全ては運、不運ではなく役割だったのだと思います。自分には特別な役割が与えられていると自覚する事で、1人1人がイキイキと輝き始める、その様に思います。彼女達が超人的な寿命を永らえる事が出来た、その要因にはいくつかの理由があると思いますが、その中の1つに、大勢の人達に支えられながら、毎日の生活を幸せに送っていたという事が言えるのではないかと思います。私達人間は、強くもあり、そしてまた弱くもあります。ちよつと油断をすれば、すぐに弱い自分が出てくる。その弱い自分を奮い立たせるのは勿論、自分自身に間違いはないのですが、その切っ掛けをつくってくれるのは、周囲の人間なのではないでしょうか？ただしその励ましを素直に受け入れる「心」が無いと、意味がありません。素直に受け入れる為には『我以外、皆我が師』という気持ちでいなければいけませんね。これは『陰徳を積み』という事です。「陰徳」とは、人に何かを施しても自慢するな、お返し見返りを求めるな、そして偉い人間ではなく、立派な人間になりなさいという戒めでもあります。

『陰徳』を積んでいる人は皆、知っているはずですが、それは『人に何かをしてもらった時の喜びより、人の為に何かをして、相手が喜んでくれた時の方が、もっと大きな喜びを得られる』という事を。『私達にとって、家族や友人知人に勝る財産はない』だから『人は人によつて人になる』と言うのだと思います。『何があっても人を騙すな、泣かせるな、悲しませるな』と言われます。なぜでしょうか？それは善い事もそうだが、悪い事も同じく、必ず子供・孫の代に返ってくるからなのだと思います。1日は、今という今の1秒の集積です。今を失う人は1日を失う人です。そして下手をすると、そのまま一生を棒にふる人になります。「時は金なり」と言いますが、しかしお金は取り返せません。でも同じ様に『時』は再び巻き戻すことは出来ません。『気付いた時に、さつと対処する』『気付いたらすぐに行動する、そう考え行動する事の積み重ねが肝心なのです。気付かなくては考えることすら出来ません。』ともかく**具体的に動いてごらん。具体的に動けば、具体的な答えが出るから**です。人間1人の存在は、それほど強くありません。逆境に沈めば悩み苦しむ、順境に立てば得意が慢心に流れ、つい傲慢に陥ってしまう。より良い人生を貫く為には、もう一度自分自身の『人生を支える教え』・『人生に口ずさむ言葉』を持つべきだと思います。平成十五年も壇信徒の皆さんに支えられて無事に法努を全うできまし

た事を、ここに感謝申し上げ、来年も皆さんに御多幸が降り注がんことを、祈念致します。

皆様が健康で、いづれこの富山県真成寺の壇信徒から世界最高齢の方が名乗り出られる事をお祈り申し上げ、私の年末の言葉に代えさせて戴きます。 **南無妙法蓮華經**

合掌 副住職 谷川 寛敬